

開講年度	2024		開講学期	春学期						
科目コード	L00189		授業コード	10079						
科目名	地域貢献演習B			開講曜日・時限	月曜1限					
単位数	2.0		授業形態	講義						
担当教員名【代表】	神殿 織江									
担当教員名	東田 晋三（神戸親和大学）									
ユニット名	【2023年度入学生】社会連携科目									
先修条件										
C-PLAT	C	○	P	○	L	○	A		T	○
授業のねらい	私達が属する地域社会に焦点をあて、安心と信頼を生み出す社会について考える。地域社会が抱える課題を探り、その解決のための地域コミュニティの取り組みの事例を調査し、課題解決にどのように繋がっているのかを学ぶ。さらに、地域活性化のための個人の関わりを考える。また、企業がどのような社会貢献を行なっているのか、社会情勢が変化する中で取り組みにおける変化も探る。									
授業時間外学習	社会の流れに興味を持ち、新聞、書籍、インターネットから情報を収集し、様々な年代の方々とコミュニケーションをとることに努め、地域の現状や問題を知り、個人の関わりを考える。 提出された資料は、授業時間内ならびにel-campusからの解説によりフィードバックする。									
授業計画										
回	主 題		内容・授業方法・予習および時間・復習および時間・得られる成果など							
1	オリエンテーション		授業の進め方(C,P,L,T) 自分の貢献の事例を共有し、身近な例から貢献について考える（目標としたこと、それについてどのように取り組み、どのような結果につながったか） 予習：(2時間)これまでの自分が行った貢献について考える。復習：(2時間)日常で自分が関われることを考える。							
2	安心と信頼を生み出す社会について		安心と信頼を生み出す社会についてグループで討議する。(C,P,L,T) 個人の関わりについて考える。 予習：(2時間)どのような社会が安心と信頼を生み出すのか考える、復習：(2時間)授業内容を基に自分で関わるることができる貢献を考える。							
3	地域社会が抱える現状と課題		社会情勢の変化の中で、地域が抱える課題を理解する。(C,P,L,T) 予習：(2時間)地域社会の課題を調べる、復習：(2時間)授業内容を基に自分で関わるることができる貢献を考える							
4	人はなぜ働くのか 担当：東田		働くことが地域社会にどのように繋がるのか理解する(C,L,T) 予習:(2時間)自分の働き方について考えておく、復習:(2時間) 授業内容の整理と確認							
5	調査・事例発表①		グループで調査を行い、発表準備を行う。(C.P.L.T) 予習:(2時間)グループで決定したテーマに関して深く調査する、復習:(2時間)自分の担当箇所について調べ、全体の流れを確認する。							
6	調査・事例発表②		グループで調査を行い、発表準備を行う。(C.P.L.T) 予習:(2時間)グループで決定したテーマに関して深く調査する、復習:(2時間)自分の担当箇所について調べ、全体の流れを確認する。							
7	調査・事例発表③		・各グループの発表を行う。(C.P.L.T) ・発表後に質疑応答とグループ討議を行う。 予習：3時間（発表の準備）、復習：1時間（発表の反省）							
8	キャリアデザインとお金 担当：東田		自分のキャリアとお金の関わりを考え、地域活性との繋がりを理解する(C,P,T,L) 予習:(2時間)個人の関わりを考える、復習:(2時間)授業内容の整理と確認							
9	企業による社会貢献について歴史と現状		社会環境が変化する中で、企業の取り組みがどのように変化しているのか理解する。 (C.P.L.T)							

		予習：(2時間)社会環境の変化について情報収集する、復習：(2時間)企業の社会貢献について調べる
10	企業の社会貢献の現状	企業からゲストスピーカーを招き、社会貢献の現状について話を聞く。(C.L.T) 予習：(2時間)ゲストスピーカーの企業について調べる、復習：(2時間)レポート作成
11	振り返り	ゲストスピーカーの講義による振り返り(C.P.L.T) 予習：(2時間)レポートの確認、復習：(2時間)授業の整理と確認
12	企業の社会貢献における国際比較 ①	北米、欧州、アジアの企業の社会貢献を取り上げ、国際比較する。(C.P.L.T) 地域コミュニティの地域貢献へのヒントを探る。 予習:(2時間)海外の事例の下調べをする、復習:(2時間)海外の事例を調査する
13	企業の社会貢献における国際比較 ②	海外の事例について個人で調査したことを発表する。(C.P.L.T) 地域コミュニティの地域貢献へのヒントを探る。 予習:(2時間)海外の事例について調べる、復習:(2時間)国際比較した上で、地域への関わりを考える
14	地域貢献とSDGSの関係	地域の活性化がSDGS達成の貢献に繋がることを理解する(C.P.L.T) 予習(2時間)SDGSにつて調べておく、復習(2時間)授業の内容を振り返る
15	まとめ	全体を振り返りまとめを行う(C.P.L.T) 予習(2時間)これまでの授業の振り返りをしておく、復習(2時間)授業内容の整理と確認
DP / ナンバリング		ラDP3 / L1s102
授業の到達目標・学習成果		身近な地域に関心を持つことができる。 個人の関わりが地域活性化に繋がることを理解できる。 地域社会の課題を学び、分析できる 活性化のための行動を考えることができる
成績評価の対象となる項目・配分		
項 目		配 分
平常点		40 %
グループ研究・発表		40 %
期末試験		20 %
		%
		%
		%
		計 100 %
上記以外の対象となる事項		
教科書	なし 適宜資料を配布する	
参考書	なし	
授業に関する質問等の方法	初回授業で担当教員に確認をしてください。	
備 考	本講義は神戸親和大学との共同開発授業です。東田教授担当日は、初回授業でお知らせします。	